

2024年6月27日

# お客さま本位の業務運営にかかる 取組状況の公表について



## りそなアセットマネジメント



# お客さま本位の業務運営にかかる取組状況の公表について

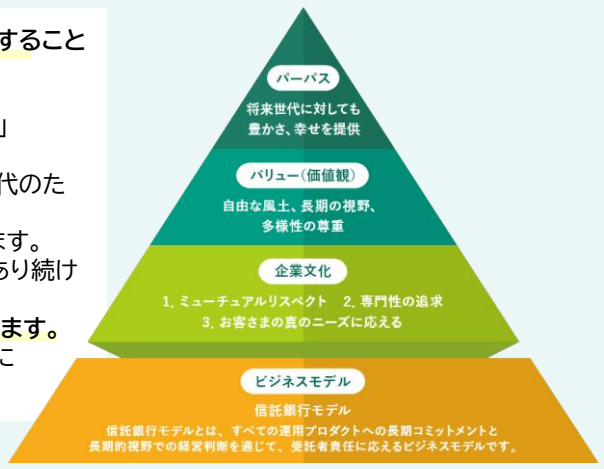
りそなアセットマネジメント株式会社(以下、「当社」)は、2020年3月より、お客さま本位の業務運営に向けた具体的なアクションプランを策定し、その取組状況および成果指標(KPI)を公表してまいりました。  
本資料では、『顧客本位の業務運営に関する原則』の改定に伴い2021年6月に策定した、「お客さま本位の業務運営にかかる取組方針」(以下、「取組方針」)に基づき、2023年度の当社の取組状況について公表いたします。

詳細につきましては次頁以降をご参照ください。

当社は、当社のパーパス(存在意義)である「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することを通じ、お客さまに喜んで選んでいただける資産運用会社を目指しています。そして、パーパスの実現のため、またその前提となる資産運用会社の当然の責務として、引き続きお客さま本位の業務運営を行ってまいります。



当社のパーパス(存在意義)は「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することです。  
多くのお客さまに  
「りそなアセットマネジメントの運用サービスを受けて資産形成ができた。」  
「りそなアセットマネジメントを知ったことで豊かな老後を過ごせた。」  
「りそなアセットマネジメントの運用する商品に投資をすることで、将来世代のためにより良い社会・環境の実現に貢献できた。」  
などと笑顔で言っていただけるような会社になりたいと強く思っております。  
そのような「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供できる運用会社」であり続けるために、  
**私たちはお客さまの真のニーズにお応えする運用会社になることを誓います。**  
また、私たちはお客さまの資産形成に役立つ「長期投資家」であると同時に「責任ある投資家」であることを宣言します。



※当社は『顧客本位の業務運営に関する原則』の原則1【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】に則り、2022年度に当社の取組方針について一部見直しを行いました。



# 方針1. お客様の最善の利益の追求

当社のパーパスは「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することです。

そして、パーパスを実現することがお客様の最善の利益に繋がるとの考えのもと、運用において最も大切なことは「長期国際分散投資」であると信じています。長期国際分散投資を効率的に行っていただくため、当社は「高品質なインデックス運用」、「長期的に再現性のある超過収益を生み出すことのできるアクティブ運用」を提供いたします。また、アセットマネジメントの重要性が増す中、「ユニバーサルオーナーシップ」の概念のもと「責任投資」活動にも一層注力いたします。

## ・アクティブ運用：

確固たる投資哲学に基づき、運用プロセスのたゆまぬ高度化と実効性のあるモニタリングにより、より高い超過収益の獲得に努めます。

## ・バランス運用：

継続的な市場調査／分析に基づく資産配分戦略により、お客様の期待するリスクやリターンに応じたパフォーマンスの実現に努めます。

## ・インデックス運用：

より低いコストで良質な商品をご提供できるよう、ファンド運営の効率化と投資手法の研究を継続的に行います。

## ・責任投資：

継続的な投資先企業との対話・エンゲージメントや適切な議決権行使を通じて、投資先企業の価値向上と株式市場全体の底上げへの貢献に努めてまいります。なお、当社では企業に過度な負担を強いることが無いよう、対話・エンゲージメント活動のクオリティを重視し、適正な活動数の維持を目指します。

当社は、「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供できる資産運用会社」であり続けるために、全ての従業員に対してプロフェッショナルであることを求めています。高度専門性を有するプロフェッショナルが、厳格な職業倫理の下、自由闊達に活躍できる企業カルチャーこそが、長期的な運用へのコミットメントのために最も重要であると考えています。上記の実現のため、当社は従業員に求める姿を具現化したものとして「行動規範」を制定しています。「行動規範」については定期的な社内周知により浸透を図ります。

加えて、資産運用会社としての高度専門性を維持するため、グループ会社とは異なる独自の人事評価制度である「専門系評価制度」を策定しており、当該制度に基づき従業員の評価を実施しています。当社は、「専門系評価制度」の適切な運営と深化を通じ、高度専門性の維持・向上に努めます。



取組状況

●アクティブ運用

・当社の年金向け主力アクティブ運用プロダクト(コスト控除前)においては、9ファンド中7ファンド(過去10年実績)、6ファンド中6ファンド(過去20年実績)でベンチマーク対比の超過収益を獲得しました。

【年金投資基金信託】

過去5年（年率換算）

| 資産名            | 国内株式  |        |        |       |       |        |
|----------------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|
| ファンド名          | 株式口A  | 株式口L   | 株式口W   | 株式口O  | 株式口V  | 株式口Z   |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 1.00% | -1.15% | -1.18% | 1.87% | 2.78% | 15.67% |
| シャープレシオ        | 1.15  | 0.91   | 0.77   | 0.73  | 1.13  | 0.72   |
| インフォメーションレシオ   | 0.38  | -0.29  | -0.15  | 0.28  | 0.52  | 0.72   |
| 資産名            | 国内債券  |        | 外国債券   | 外国株式  |       |        |
| ファンド名          | 公社債口A | 公社債口D  | 外証券口A  | 総合口O  |       |        |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.06% | -0.04% | -0.58% | 3.56% |       |        |
| シャープレシオ        | -0.45 | -0.47  | 0.82   | 1.11  |       |        |
| インフォメーションレシオ   | 0.17  | -0.11  | -0.53  | 0.42  |       |        |

過去20年（年率換算）

| 資産名            | 国内株式  |       |       |       |      |      |
|----------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| ファンド名          | 株式口A  | 株式口L  | 株式口W  | 株式口O  | 株式口V | 株式口Z |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 1.22% | 0.45% |       | 1.43% |      |      |
| シャープレシオ        | 0.46  | 0.39  |       | 0.46  |      |      |
| インフォメーションレシオ   | 0.44  | 0.11  |       | 0.26  |      |      |
| 資産名            | 国内債券  |       | 外国債券  | 外国株式  |      |      |
| ファンド名          | 公社債口A | 公社債口D | 外証券口A | 総合口O  |      |      |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.10% | 0.14% | 0.08% |       |      |      |
| シャープレシオ        | 0.55  | 0.56  | 0.51  |       |      |      |
| インフォメーションレシオ   | 0.33  | 0.32  | 0.08  |       |      |      |

過去10年（年率換算）

| 資産名            | 国内株式  |        |        |       |       |        |
|----------------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|
| ファンド名          | 株式口A  | 株式口L   | 株式口W   | 株式口O  | 株式口V  | 株式口Z   |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 1.78% | -0.13% | 0.49%  | 3.31% | 1.81% | 20.83% |
| シャープレシオ        | 0.93  | 0.75   | 0.70   | 0.84  | 0.84  | 1.10   |
| インフォメーションレシオ   | 0.64  | -0.03  | 0.08   | 0.55  | 0.41  | 1.10   |
| 資産名            | 国内債券  |        | 外国債券   | 外国株式  |       |        |
| ファンド名          | 公社債口A | 公社債口D  | 外証券口A  | 総合口O  |       |        |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.16% | 0.19%  | -0.27% |       |       |        |
| シャープレシオ        | 0.24  | 0.24   | 0.48   |       |       |        |
| インフォメーションレシオ   | 0.57  | 0.58   | -0.27  |       |       |        |

【公募投資信託】

過去5年（年率換算）

| ファンド名   | FWリそな円建債券<br>アクティブファンド  | FWリそな国内株式<br>アクティブファンド          | FWリそな先進国債券<br>アクティブファンド | FWリそな先進国+<br>新興国債券<br>アクティブファンド |
|---------|-------------------------|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 収益率     | -2.66%                  | 13.70%                          | 5.40%                   | 5.73%                           |
| シャープレシオ | -0.69                   | 0.98                            | 0.90                    | 0.86                            |
| ファンド名   | FWリそな先進国株式<br>アクティブファンド | FWリそな先進国+<br>新興国株式<br>アクティブファンド | FWリそな絶対収益<br>アクティブファンド  | リそな日本中小型株式<br>ファンド              |
| 収益率     | 19.49%                  | 17.25%                          | -1.68%                  | 14.45%                          |
| シャープレシオ | 1.01                    | 0.93                            | -0.78                   | 0.68                            |

※パフォーマンスの算出方法、年金投資信託基金アクティブ運用の各戦略等について、詳しくは巻末の【年金投資基金信託、公募投資信託のパフォーマンスについて】をご覧ください。



## 方針1. お客様の最善の利益の追求

## 取組状況

## ●インデックス運用

・当社のインデックス運用においては、投資対象にかかわらず10年超の運用実績においてベンチマーク対比での乖離は殆ど生じておらず、公募インデックスファンドについても、トラッキングエラーは投資対象を鑑み妥当な水準となっています。

## 【年金投資基金信託】

過去5年（年率換算）

| 資産名            | 国内債券  | 国内株式  | 外国債券   | 外国株式   |
|----------------|-------|-------|--------|--------|
| ファンド名          | 公社債口C | 株式口C  | 外証券口O  | 外証券口C  |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.01% | 0.02% | -0.03% | -0.04% |
| トラッキングエラー      | 0.04% | 0.05% | 0.20%  | 0.07%  |

過去20年（年率換算）

| 資産名            | 国内債券  | 国内株式  | 外国債券  | 外国株式   |
|----------------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド名          | 公社債口C | 株式口C  | 外証券口O | 外証券口C  |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.02% | 0.09% | 0.02% | -0.08% |
| トラッキングエラー      | 0.05% | 0.17% | 0.18% | 0.08%  |

過去10年（年率換算）

| 資産名            | 国内債券  | 国内株式  | 外国債券   | 外国株式   |
|----------------|-------|-------|--------|--------|
| ファンド名          | 公社債口C | 株式口C  | 外証券口O  | 外証券口C  |
| 超過収益率（対ベンチマーク） | 0.01% | 0.08% | -0.01% | -0.06% |
| トラッキングエラー      | 0.04% | 0.16% | 0.15%  | 0.08%  |

## 【公募投資信託】

過去5年（年率換算）

| ファンド名     | Smart-i<br>国内債券インデックス | Smart-i<br>TOPIXインデックス | Smart-i<br>日経225インデックス | Smart-i<br>先進国債券インデックス<br>（為替ヘッジなし） | Smart-i<br>先進国債券インデックス<br>（為替ヘッジあり） | Smart-i<br>先進国株式インデックス | Smart-i<br>新興国株式インデックス | Smart-i<br>Jリートインデックス | Smart-i<br>先進国リートインデックス |
|-----------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 収益率       | -1.35%                | 14.19%                 | 15.58%                 | 4.82%                               | -3.19%                              | 19.78%                 | 7.89%                  | 2.51%                 | 8.33%                   |
| シャープレシオ   | -0.55                 | 1.00                   | 0.91                   | 0.87                                | -0.58                               | 1.15                   | 0.44                   | 0.16                  | 0.40                    |
| トラッキングエラー | 0.05%                 | 0.05%                  | 0.39%                  | 0.49%                               | 0.27%                               | 0.39%                  | 0.99%                  | 0.10%                 | 0.37%                   |

| ファンド名     | FWリソな国内リート<br>インデックスオープン | FWリソな先進国リート<br>インデックスオープン | FWリソな国内債券<br>インデックスファンド | FWリソな国内株式<br>インデックスファンド | FWリソな先進国債券<br>インデックスファンド<br>（為替ヘッジなし） | FWリソな先進国債券<br>インデックスファンド<br>（為替ヘッジあり） |
|-----------|--------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 収益率       | 2.36%                    | 8.09%                     | -1.48%                  | 13.99%                  | 4.62%                                 | -3.38%                                |
| シャープレシオ   | 0.15                     | 0.39                      | -0.60                   | 0.99                    | 0.83                                  | -0.61                                 |
| トラッキングエラー | 0.10%                    | 0.36%                     | 0.04%                   | 0.05%                   | 0.49%                                 | 0.27%                                 |

| ファンド名     | FWリソな新興国債券<br>インデックスファンド | FWリソな先進国株式<br>インデックスファンド | FWリソな新興国株式<br>インデックスファンド | FWリソな国内リート<br>インデックスファンド | FWリソな先進国リート<br>インデックスファンド |
|-----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 収益率       | 4.52%                    | 19.51%                   | 7.62%                    | 2.36%                    | 8.09%                     |
| シャープレシオ   | 0.41                     | 1.14                     | 0.43                     | 0.15                     | 0.39                      |
| トラッキングエラー | 1.64%                    | 0.39%                    | 0.99%                    | 0.10%                    | 0.36%                     |

※パフォーマンスの算出方法について、詳しくは巻末の【年金投資基金信託、公募投資信託のパフォーマンスについて】をご覧ください。

## 方針1. お客様の最善の利益の追求

## 取組状況

## ●バランス運用

・2022年度の未曾有の金利急上昇により、債券資産のパフォーマンスがグローバルで大きく悪化しリスクも上昇したことから、2023年度のバランス運用においては、一部リスク許容度に見合ったパフォーマンスとはなりませんでしたが、ただし、3年、5年といった中長期ではリスク許容度に比例的なパフォーマンスを実現しています。

## 【公募投資信託】

過去5年（年率換算）

| ファンド名   | りそなラップ型ファンド（愛称：R246） |       |        | DCグローバル<br>バランスファンド | つみたて<br>バランスファンド |
|---------|----------------------|-------|--------|---------------------|------------------|
|         | 安定型                  | 安定成長型 | 成長型    |                     |                  |
| 収益率     | 1.03%                | 5.69% | 11.18% | 2.32%               | 9.83%            |
| シャープレシオ | 0.22                 | 0.68  | 0.78   | 0.55                | 0.96             |

| ファンド名   | りそなターゲット・イヤー・ファンド |       |        | Smart-i8 資産バランス |       |        |
|---------|-------------------|-------|--------|-----------------|-------|--------|
|         | 2030              | 2040  | 2050   | 安定型             | 安定成長型 | 成長型    |
| 収益率     | 5.26%             | 8.89% | 11.42% | 3.62%           | 9.23% | 12.96% |
| シャープレシオ | 0.73              | 0.89  | 0.93   | 0.69            | 0.97  | 1.05   |

## ●パフォーマンス向上に向けた取組

・アクティブ運用者評価基準（パフォーマンス実績と処遇の関連性、実績に応じた運用者選抜プログラム）を改めて整備し、運用者の評価KPIを策定し計測を開始するなど、高いパフォーマンスを追求する組織文化を追求するための基盤整備を行いました。

・運用パフォーマンスの向上を目的とし、高パフォーマンス人材のモチベーション確保とリテンションを目的とした新しいインセンティブ制度を導入するとともに、有望な若手人材への一層の裁量と機会の提供を目的とする人事運営を志向しています。

※パフォーマンスの算出方法について、詳しくは巻末の【年金投資基金信託、公募投資信託のパフォーマンスについて】をご覧ください。

# 方針1. お客様の最善の利益の追求

## 取組状況

### ●プロダクトガバナンス

・当社の運用プロダクトについては、運用担当部署での「運用品質管理ミーティング」、および四半期毎に開催される、運用ミドル部署による「運用評価委員会」にてパフォーマンスの評価を行います。また、半期毎に社外取締役のみで構成される「ファンドガバナンス会議」を開催し、「運用評価委員会」での評価結果を基に、プロダクトの運用品質の適切性について検証を行います。

・なお、公募投資信託のパフォーマンスの評価、他社との比較等については、2024年6月より「りそなファンド評価レポート」を作成し、プロダクトガバナンスの考え方等とともに、基準日時点で運用開始から5年以上経過しているファンドの評価について、Webサイトに公表しています。

[https://www.resona-am.co.jp/fund/pdf/evaluation\\_report202406.pdf](https://www.resona-am.co.jp/fund/pdf/evaluation_report202406.pdf)

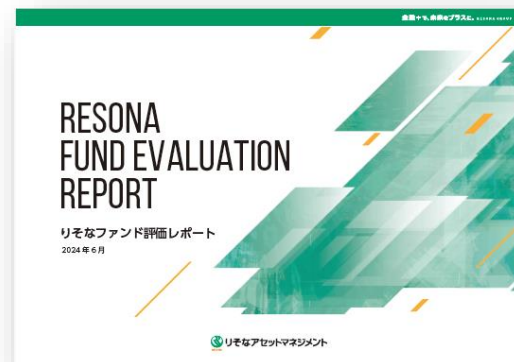
・また、運用会社としての経営、運用体制の透明性を高めるため、当社の役員についての経歴や公募投資信託における運用担当者の開示をWebサイトで行いました。

・役員一覧

<https://www.resona-am.co.jp/about/officer.html>

・運用担当者のご紹介

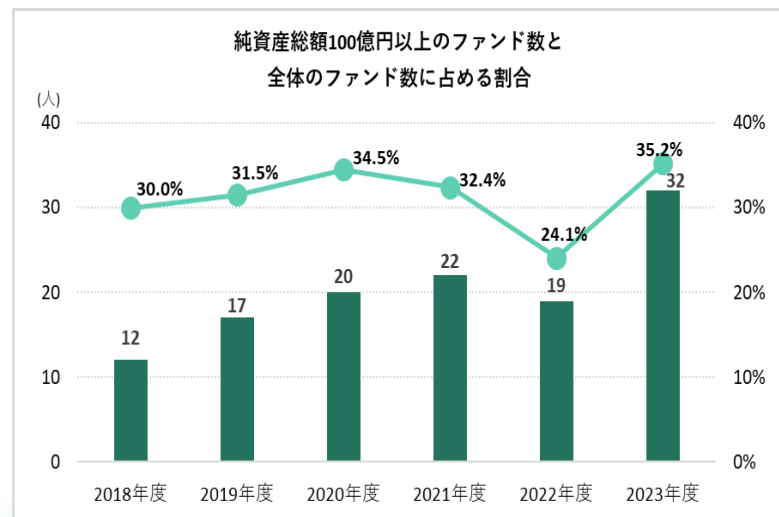
<https://www.resona-am.co.jp/fund/operator.html>



・当社は、組成した公募投資信託のすべてについて運用パフォーマンスの改善と情報提供等その他運用サービスの充実に向けた取組を継続し、お客さまへの長期にわたる付加価値の提供を目指しています。このような取組を継続することにより、お客さまから支持され選んでいただける運用会社となり、結果として当社が設定する公募投資信託の残高拡大に繋がると考えています。

当社はすべての公募投資信託について、一定の残高規模（純資産総額で100億円以上）を目指しています。2023年度は公募12ファンドを新規に組成したものの、2022年度末と比較して純資産総額100億円以上のファンド数は増加し、全体のファンド数に占める割合も増加しました。2024年度も、既存ファンドのパフォーマンス向上とリプロモーションに一層注力し、残高拡大を目指します。

|                    | 2024年3月 | 2023年3月 |
|--------------------|---------|---------|
| 純資産総額100億円以上のファンド数 | 32      | 19      |
| 全体のファンド数に占める割合     | 35.2%   | 24.1%   |



## 方針1. お客様の最善の利益の追求

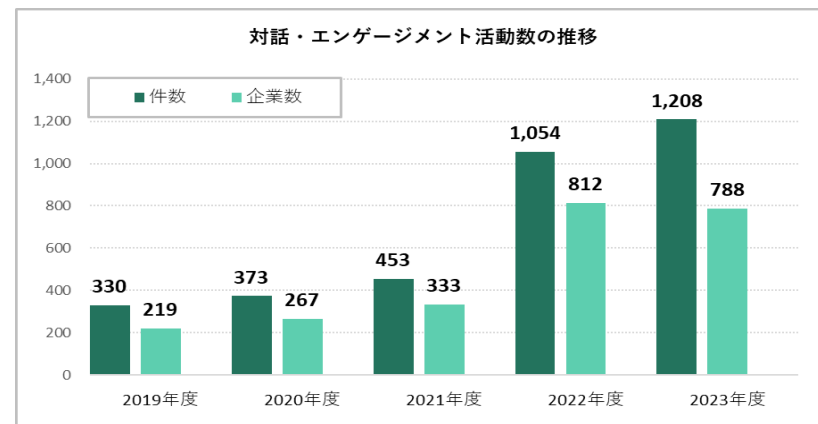
## 取組状況

## ●責任投資

・企業との対話・エンゲージメントについて、企業からの投資家との対話ニーズが強まったことやコロナ禍が収束に向かったこともあり、2023年度は昨年度実績を上回る件数となりました。なお、当社では企業に過度な負担を強いることがないよう、エンゲージメント活動のクオリティを重視し、適正な活動数の維持を目指す方針に変更はありません。

|                | 2024年3月(件数/企業数) | 2023年3月(件数/企業数) |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 対話・エンゲージメント活動数 | 1,208/788       | 1,054/812       |

※対話・エンゲージメント活動数の推移グラフについて、これまで、本項目ではエンゲージメント活動数を報告していましたが、2022年下期より「対話」と「エンゲージメント」を区別せずに計上する方針への変更を行っています。そのため、2022年度は前年度と比較し活動数が大幅に増加する結果となりました。



・PRI in Person 2023にシルバースポンサーとして参加し、当社役員の「Keynote Interview」登壇、自然資本・生物多様性をテーマとしたサイドイベントを主催するなど、独自性の高い当社の責任投資にかかる取組について発信し、高い評価を得ています。

・企業情報を共有するアプリケーションを導入し、対話・エンゲージメント企業の進捗状況等の共有、AIを活用した統合報告書分析の活用により実効性の高い対話・エンゲージメントを実施しました。

・AI関連データやESGスコア等のデータベース構築も行い、ESG関連業務の効率化を図りました。

・当社独自の「りそなESG評価」を対話・エンゲージメントのツールに活用を開始しました。今後は更に対話・エンゲージメント効果測定の一つとしても、活用を検討しています。

・当社のサステナビリティの取組みについてまとめた「[SUSTAINABILITY REPORT2023/2024](#)」の発行に加え、当社がパーパス実現に向け、最も重要と考えている、気候変動や自然資本・生物多様性の損失という課題への対応について、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)\*1、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)\*2の提言するフレームワークに沿って統合的に説明した、「[Climate/Nature-Related Financial Disclosure Report](#)」を発行しました。

・当社のWebサイトにて、責任投資やESGに関する取組みについてのページを整理・改修し、情報発信の強化を行いました。



\*1:金融安定理事会(FSB)により2015年12月に発足された、気候関連財務情報を開示するフレームワークの開発・提供を行う国際イニシアティブ。

\*2:国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)、国連開発計画(UNDP)、Global Canopy、および世界自然保護基金(WWF)により2021年6月に発足された、自然関連財務情報を開示するフレームワークの開発・提供を行う国際イニシアティブ

# 方針1. お客様の最善の利益の追求

《お客様の最善の利益を図ることによる、安定した顧客基盤と収益の確保について》

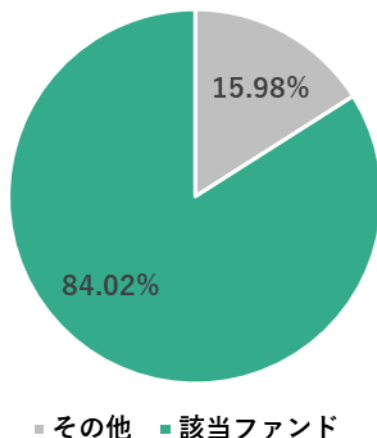
当社は、前述の取組を長期的に継続していくことにより、当社の提供する様々な商品を通じて「長期国際分散投資」を実践されるお客様が増えていくことに繋がると信じています。

そして、それは当社の運用資産全体の分散と安定性に寄与し、結果としてマーケット環境などに左右されない頑健な収益性が確保され则认为します。

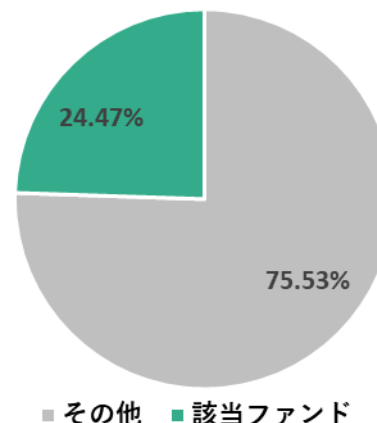
## 取組状況

当社の公募投資信託全体に占める、バランスファンド、ファンドラップ等のバランス運用向けに 提供するファンドの残高は約84.0%、また、確定拠出年金などの積立投資向けに提供するファンドの残高は約24.5%を占めており、当社の収益に長期的に寄与する事が期待されます。

当社公募ファンド全体に占めるバランスファンド、  
バランス運用向けファンドの割合



当社公募ファンド全体に占める、確定拠出年金などの  
積立投資向けファンドの割合



## 方針2. 利益相反の適切な管理

当社は、「利益相反管理方針」を社内規定として制定しています。「利益相反管理方針」に基づき、グループ内の利益相反管理に適切に対応します。また「利益相反管理方針」については、必要に応じ見直しするなど、実効性ある利益相反管理体制の整備を継続します。

### 取組状況

利益相反管理方針等に基づく管理状況については、取組方針に基づき、半期毎に当社の経営会議および取締役会への報告を実施しました。  
・運用部門に対する当社グループの法人営業部門からの不当な干渉・圧力等の有無について継続的なモニタリングを実施し、該当事例はありませんでした。

#### 《利益相反の可能性のある具体的なケースについて》

当社は、利益相反のおそれがある取引等として以下のようなケースを考慮し、管理方法を定めるとともに、必要に応じて見直しを実施します。

##### 【利益相反が具体的に想定され得るケース】

運用部門が、りそなグループの法人営業部門と取引関係等を有する企業が発行する有価証券への投資や議決権行使を行う場合  
運用部門が、ファンド関係者(販売会社、受託会社)が発行する有価証券への投資や議決権行使を行う場合

##### 【管理方法】

限定された運用担当者による運用スタイルごとの投資判断プロセスに則った投資判断態勢の確保  
りそなグループおよび社内の法人営業部門から運用部門に対する投資先選定、議決権行使にかかる干渉の禁止  
りそなグループの法人営業部門から運用部門に対する人事異動の制限

### 取組状況

・運用担当部署が主催する運用品質管理ミーティングに運用リスク管理部署が参加することにより、運用スタイルごとの投資判断プロセスに即して銘柄選定が行われていることを確認しました。  
・議決権行使基準および行使結果について、「責任投資検証会議」にて第三者による妥当性検証を実施しました。

## 方針3. 手数料の明確化

当社が組成するファンドの手数料については、ファンド組成時に「運用委員会」、組成後には社外取締役により構成される「ファンドガバナンス会議」にてその妥当性について検証を行います。なお、手数料については下記の項目を考慮に入れ、設定します。

- ・ ファンドの長期期待リターン(投資対象資産、想定リスク水準等)
- ・ 運用手法(インハウス／外部委託、アクティブ／インデックス等)
- ・ ファンド運営コスト
- ・ 約款・目論見書等の作成に関するコスト
- ・ 想定販路(店頭、ネット専用、確定拠出年金等)
- ・ 中長期的な採算性
- ・ 取扱販売会社への推進支援に関するコスト
- ・ 他社設定ファンドとの相对比较
- ・ 運用スキームの複雑性に起因するコスト

当社ファンドの取扱販売会社が販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等)に記載される、ファンドに付随する信託報酬について、目論見書内にその支払先の内訳および支払先ごとにどのような役務の対価であることを明示します。

### 取組状況

- ・ 2023年度は、公募投資信託を12ファンド新規に設定しました。いずれも「ファンドガバナンス会議」にて、手数料等について第三者による妥当性の検証を実施しています。
- ・ 公募投資信託の信託報酬率について、運用パフォーマンス、他社相对比较の両面から評価を実施しました。評価の結果については、「りそなファンド評価レポート」をWebサイトに公開しています。

[https://www.resona-am.co.jp/fund/pdf/evaluation\\_report202406.pdf](https://www.resona-am.co.jp/fund/pdf/evaluation_report202406.pdf)

## 方針4. 重要な情報の分かりやすい提供

販売時使用資料※の作成にあたっては、お客さまが投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容(以下、「重要な投資情報」)について、どのようなお客さまにも分かり易く伝えられるよう努めます。

また、当社ファンドの取扱販売会社(以下、「取扱販売会社」)に対しても重要な投資情報について十分に情報提供を行うことで、お客さまとの間の情報の非対称性の解消に努めます。

なお、重要な投資情報に変更が生じた場合には、遅滞なく販売時使用資料の修正を行い取扱販売会社およびお客さまに周知できるよう努めます。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等)をいいます。

### 取組状況

- ・販売時使用資料の作成・改訂の際には、お客さまが投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容(以下、「重要な投資情報」)について、分かりやすさと網羅性を意識して作成しています。
- ・開示強化の施策として、当社が組成する公募投資信託の中で、ESG ファンド/インパクトファンドについて、金融庁より公表された ESG 投信に係る「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針(ESG考慮に関する留意事項)」の内容を踏まえた法定帳票等の記載の充実化を行いました。
- ・インパクトファンドについては、運用目的に社会的インパクトの創出を明記するため、約款変更を実施しました。

#### ■りそな日本中小型株式ファンド 交付目論見書

##### ファンドの特色

- 1 RM国内株式アクティブ中小型マザーファンドを通じて、国内の金融商品取引所に上場されている\*中小型株式への投資を行います。

\* 上場予定を含みます。

- 2 社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

● 当ファンドはSDGsを投資銘柄選定の主要な要素としています。SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率は合計100%とすることを目標としています。

※ 2023年12月29日現在、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率は、以下の通りです。

|                                         | 組入比率  |
|-----------------------------------------|-------|
| SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄                   | 99.2% |
| ・上記組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。         |       |
| ・株式のうち、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の比率は100%です。 |       |

● SDGsを考慮して投資アイデアと投資銘柄を選定することで、SDGsの達成をはじめとした社会的な課題の解決に貢献する日本の中小型銘柄によってポートフォリオを構築します。

SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の比率を、交付運用報告書だけでなく、交付目論見書にも記載しています

#### ■グローバルインパクト投資ファンド(気候変動) 交付目論見書

##### ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長と社会的インパクトの創出を目指して運用を行います。

インパクトファンドのファンドの目的に「社会的インパクトの創出」を明記しました

## 方針4. 重要な情報の分かりやすい提供

### 《重要な投資情報に含まれる内容について》

重要な投資情報には、以下の内容を含みます。

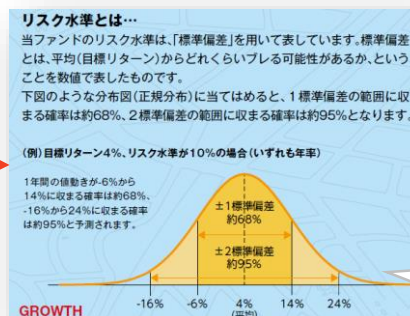
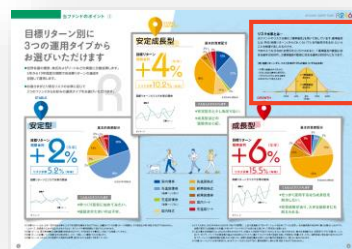
- 運用方針、運用目的
- 運用スキーム
- 運用手法、投資対象
- 内包されるリスクとその内容
- 今後想定される値動き(過去一定期間における収益率(平均、最低、最高))
- 設定・解約の条件
- 運用に付随するコストおよびその対価
- 販売対象として想定する顧客層

また、取扱販売会社へも十分な情報提供を行い、重要な投資情報について正確に理解いただくとともに、想定する顧客層に対して販売・推奨いただけるよう努めます。

### 取組状況

- 重要な投資情報について、公募投資信託の販売時使用資料の作成・改訂の際には、当該情報の分かりやすさと網羅性を意識して作成しています。
- 今後、販売対象として想定する顧客層をより明確化するために、商品のリスク等に関するより具体的な記載等を検討しています。

#### ■りそな日本中小型株式ファンド 交付目論見書



リスク水準について、標準偏差のグラフを用い、値動き幅のイメージを可視化しています

### 《複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合について》

- 当社は、商品・サービスをパッケージとしてお客さまに販売・推奨することはいたしません。

《お客さまの取引経験や金融知識を考慮の上、誠実な内容の情報提供を行う事について》

販売時使用資料※に記載する重要な投資情報については、明確かつ平易な表現を用いて記載することにより、お客さまに誤解を招くことの無いように努めます。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等)をいいます。

取組状況

- ・販売時使用資料作成時には、重要な投資情報については、取引経験や金融知識にかかわらず、どのようなお客さまにもご理解いただけるよう、明確かつ平易な言葉で記載するとともに、記載内容は改訂のタイミングで継続的な見直しを行っています。
- ・運用レポートについても、お客さまご自身でファンドの運用状況などを把握できるよう、運用経過やパフォーマンスの要因について分かりやすく記載しています。
- ・取扱販売会社に対し、当社ファンドの説明会などを実施する際においては、推進面での情報提供に偏ることなく、内包するリスク等の重要な投資情報についても十分な情報提供を行っています。

《金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供について》

販売時使用資料※に記載する重要な投資情報については、その運用スキームや運用手法の複雑性に応じて記載内容や記載量を変更します。複雑性が高いファンドについては、お客さまに正確にその内容をご理解いただくため、特に平易な表現と十分な分量を用いて記載します。また、取扱販売会社に対しても当該内容について十分な情報提供を行い、正確な理解を得ていただけるよう努めます。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等)をいいます。

取組状況

- ・新規設定ファンドの販売時使用資料について、運用プロセス図の工夫や丁寧かつ平易な表現を利用して作成を実施しました。また、既存ファンドについても文章・図表の表現をより分かりやすいものにするため、継続的に変更・改善を行っています。

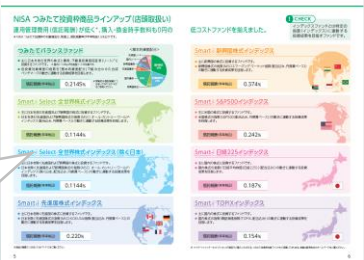
■りそなJリートインデックス(左)と  
りそな米国株式該当貴族インデックス(右) 販売用資料

具体的な投資対象が一目でわかるよう、デザインやビジュアルを工夫しています



目論見書の内容を比較でき、かつお客さまに理解いただけるよう平易な表現を用いて記載しています

■つみたて投資枠対象ファンドのご案内



《提供する情報を重要性に応じて区別することについて》  
販売時使用資料※は、重要な投資情報についてファンド毎にその重要性に応じ、より大きなフォントサイズ、赤字や太字を用いて強調するとともに、どのようなお客さまにも分かりやすく伝えられるような資料作りを行います。  
また、取扱販売会社に対しても当該内容について十分な情報提供を行います。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等)をいいます。

取組状況

- ・ESGファンド／インパクトファンドの開示促進では、目論見書や運用報告書等に記載する内容についてはただ網羅的な記載をするのではなく、可読性と重要性のバランスを考慮したうえで実施しています。
- ・総経費率の目論見書等への記載について、投資信託協会が定めた実施時期(2024年4月)に先駆けて、2023年11月改版分から順次反映を行いました。

■グローバルインパクト投資ファンド(気候変動) 交付目論見書

社会的インパクトの評価・達成方法

当ファンドでは、インテンションの実現のため、以下の社会的インパクトの測定管理プロセスを構築し、社会的インパクトの定量的・定性的評価を行っています。当ファンドにおける社会的インパクトについては、インパクトレポートに記載しています。

(社会的インパクト測定管理プロセス)

1. 企業と当ファンドの最終決定基準との整合性確保

2. 企業ごとに社会的インパクトの測定フレームワークを構築

3. 企業との対話・エンゲージメント

4. 投資先企業が創出する社会的インパクトの評価

5. ポートフォリオ全体の社会的インパクトの評価

6. さらなる改善のためのアクション実行

■Smart-i 世界株式気候変動インデックス 交付目論見書

一ご参考一 気候変動に関するリスクと機会について

- ・低炭素社会への移行は、気候変動関連の緩和・適応要件に取り組みための広範囲におよぶ政策・規制、技術および市場への変化を伴うため、企業の財務や評価にさまざまな影響を与える可能性があります。これらのリスクは「移行リスク」と呼ばれます。
- ・一方で気候変動に関する取り組みは、例えば新たな製品やサービスの開発、資源の効率的利用とコスト削減など、企業にとっての機会も創出すると考えられます。
- ・TCFDにより、気候関連のリスクおよび機会に関する分類が下記の通り定義されています。

(気候関連のリスク)

●移行リスク

政策および規制のリスク 技術のリスク 市場のリスク 評判上のリスク

●物理的リスク

急性リスク 慢性リスク

(気候関連の機会)

資源の効率 エネルギー源 製品およびサービス

市場 回復力

※TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース」

■Smart-i 8資産バランス 交付目論見書

手紙・手数料等

投資信託ファンドの総経費率

| 運用期間  | 2022年3月26日～2023年3月27日 | 2023年3月27日～ | 2023年3月27日～ |
|-------|-----------------------|-------------|-------------|
| 安定型   | 0.21%                 | 0.18%       | 0.03%       |
| 安定成長型 | 0.25%                 | 0.20%       | 0.05%       |
| 成長型   | 0.28%                 | 0.22%       | 0.06%       |

総経費率の記載対応を順次実施しています

(参考情報)ファンドの総経費率

|       | 総経費率(①+②) | ①         | ②        |
|-------|-----------|-----------|----------|
|       |           | 運用管理費用の比率 | その他費用の比率 |
| 安定型   | 0.21%     | 0.18%     | 0.03%    |
| 安定成長型 | 0.25%     | 0.20%     | 0.05%    |
| 成長型   | 0.28%     | 0.22%     | 0.06%    |

※対象期間は2022年3月26日～2023年3月27日です。  
※対象期間中の運用・管理にかかった費用の額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口あたり)を乗じた数で除した値(年率)です。  
※その他費用とは監査費用や有価証券の保管費用等です。  
※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。

各ESGファンド／インパクトファンドの特長を理解する上で特に重要と考えられる内容を記載しています



## 方針5. お客様にふさわしいサービスの提供

ファンドの組成にあたっては、お客様に長期継続性のある運用をご提供するため、商品性が重複するようなファンドや、一時の流行に依存したものなど、やみくもな拡充は行わず、真のお客様ニーズにお応えできると考えるファンドを厳選して設定を行います。

また、組成時には「運用委員会」にて販売対象として想定する顧客層、およびその理由も明確にした上で協議を行い、組成後には社外取締役にて構成される「ファンドガバナンス会議」にて組成時の商品性が維持できているかを検証します。

当社が販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するにあたり特に重視する事項は以下の通りです。

- ・ 運用方針・運用目的
- ・ リスク水準
- ・ 商品の複雑性
- ・ 取扱販売会社からのアドバイスの有無

## 取組状況

・当社は、公募投資信託については真のお客様ニーズにお応えできるものを提供するというプロダクトアウトの考え方を基本とし、長期的な運用品質の維持・向上にコミットすることが可能なファンドを厳選して組成するという方針を掲げています。

・「運用委員会」での協議の結果、2023年度は下記の公募投資信託を設定しました。新NISAやDCに対応する普遍的な付加価値のあると考えるファンドを組成しています。

| ファンド名                        |    | 信託報酬率   | ファンド名                 |      | 信託報酬率   |
|------------------------------|----|---------|-----------------------|------|---------|
| Smart-i DC 全世界株式インデックス       | DC | 0.1375% | りそなS&P500インデックス       | 成長   | 0.5175% |
| Smart-i DC 全世界株式インデックス(除く日本) | DC | 0.1375% | りそなTOPIXインデックス        | 成長   | 0.4730% |
| りそなJリートインデックス(年1回決算型)        | 成長 | 0.4895% | りそな先進国株式インデックス        | 成長   | 0.5280% |
| りそなJリートインデックス(年4回決算型)        | 成長 | 0.4895% | りそな新興国株式インデックス        | 成長   | 0.6160% |
| りそな米国株式配当貴族インデックス(年1回決算型)    | 成長 | 0.5500% | りそなターゲット・イヤー・ファンド2065 | つみたて | 0.4400% |
| りそな米国株式配当貴族インデックス(年4回決算型)    | 成長 | 0.5500% | グローバル株式厳選ファンド         | 成長   | 0.6500% |

つみたて …つみたて投資枠対象ファンド 成長 …成長投資枠対象ファンド DC …DC向けファンド

・ファンドの組成時には、「運用委員会」にて販売対象として想定する顧客層も含め協議を行ったうえで設定しています。また、公募投資信託すべてについて、組成時に商品性が適切に検討されているか、組成時に想定した運用品質が維持されているか等について、「ファンドガバナンス会議」にて検証を実施しています。

《金融商品・サービスの販売・推奨等に関し留意すべき事項について》

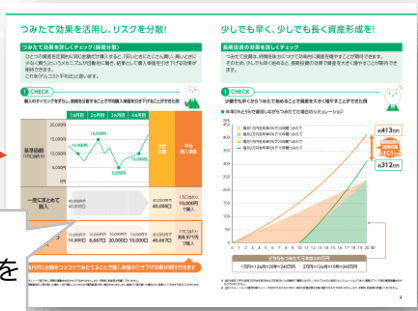
当社が組成する全てのファンドについて、取扱販売会社の担当者が、お客様のライフプラン等に基づいた真のニーズに沿った提案・販売が可能となるよう、ファンドの重要な投資情報※について十分な情報提供を実施します。

また、ファンド組成後も市場環境や運用パフォーマンス等について継続的な発信を行い、お客さまご自身での経済環境・運用状況の把握と、取扱販売会社が実施する販売後のフォローアップに資する情報の提供に努めます。

※重要な投資情報とは、お客さまが投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容のことをいいます。また、重要な投資情報に含まれる内容については取組方針4.重要な情報のわかりやすい提供の《重要な投資情報に含まれる内容について》をご参照ください。

取組状況

- ・取扱販売会社の担当者が、お客様の適合性やライフプランに沿った提案をできるよう、販売会社向けファンド説明会等の実施を通じ、重要な投資情報について十分な情報提供を行いました。
- ・特に新NISAの内容を反映した販売用資料の作成や、当社のファンド購入を通じて、お客様の長期・分散・つみたて投資が促進されるレポート等の作成を行いました。
- ・また、取扱販売会社の担当者のフォローアップ、お客さまご自身での運用状況の把握に資する情報として、アクティブファンドを中心に公募投資信託の運用実績等の各種レポート(2023年度54件、うち動画6件)および市場環境レポート(2023年度91件)を継続的に提供しました。※



商品のご案内だけでなく、NISAを活用した、長期・分散・つみたてを促す販売時使用資料を作成しました

※当社の市場環境レポートは下記 URLよりご覧ください。  
<https://www.resona-am.co.jp/market/>

《複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合について》

- ・当社は、商品・サービスをパッケージとしてお客さまに販売・推奨することはいたしません。

## 方針5. お客様にふさわしいサービスの提供

## 《販売対象として想定するお客様の属性の特定・公表等について》

販売時使用資料※には、ファンド毎に資産運用会社として考える販売対象として想定する顧客属性について記載するとともに、取扱販売会社に対しその内容を十分に理解いただけるように努めます。

また、取扱販売会社と定期的な意見交換を行い、想定する顧客層に対して販売・推奨いただけているかについて確認する等の対応に努めます。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等をいいます)。

## 取組状況

- ・公募投資信託において、「重要情報シート」の中で想定顧客層についてファンドごとに特定・記載し、販売会社を通じて順次開示を行っています。特に、店頭での提供を想定するインデックスファンドについては、「店頭での申込をご希望されるお客さまに適したファンド」であることを明確に記載しています。
- ・また、インパクトファンドについては、重要情報シートにも運用目的を明確に記載し、趣旨に賛同いただける方を想定する顧客層として記載しています。

## 《複雑又はリスクの高い金融商品や特定のお客さまの属性に対しての商品の販売・推奨等について》

ファンドの複雑性やリスク水準、販売対象として想定する顧客属性については、重要な投資情報※として認識をしています。お客さまに重要な投資情報についてご理解いただくため、特に平易・明確な表現と十分な分量を用いて販売時使用資料※を作成します。

また、取扱販売会社に対しても当該内容については十分な情報提供を行い、正確な理解を得ていただけるよう努めます。

※重要な投資情報とは、お客さまが投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容のことをいいます。また、重要な投資情報に含まれる内容については取組方針4.重要な情報のわかりやすい提供の《重要な投資情報に含まれる内容について》をご参照ください。

※販売時使用資料は、取扱販売会社が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料(販売用資料、目論見書および重要情報シート等をいいます)。

## 取組状況

- ・当社は、一般的なファンドと比較して複雑もしくはリスクが高いと考えられるファンドとして、
  - ①仕組債や複雑なデリバティブ取引を主たる投資対象とするファンド
  - ②投資対象資産の通貨とは異なる通貨の為替リスクが生じる通貨選択型ファンド
  - ③ファンドの純資産を大きく上回る価格変動リスクをとるレバレッジ型ファンド
 などが該当すると考えています。当社は、上記のような公募投資信託について、現時点で組成をしておらず、今後も組成予定はありません。



## 方針5. お客様にふさわしいサービスの提供

《従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解と、お客様への基本的な金融取引などに関する情報提供について》

当社が組成したファンドについては、取扱販売会社の担当者がその商品の特性、内包するリスクや想定する顧客層について正確な理解が得られるよう、重要な投資情報※に加え、運用全般に関する知識および中立的な提案手法も含めて提供します。

また、商品をご提供するだけでなく「資産形成が生活の一部として当たり前実践される未来の実現」を目指し、お客様の資産形成・資産管理ニーズに対する様々な情報発信や金融教育活動に注力します。

※重要な投資情報とは、お客様が投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容のことをいいます。また、重要な投資情報に含まれる内容については、取組方針4.重要な情報のわかりやすい提供の《重要な投資情報に含まれる内容について》をご参照ください。

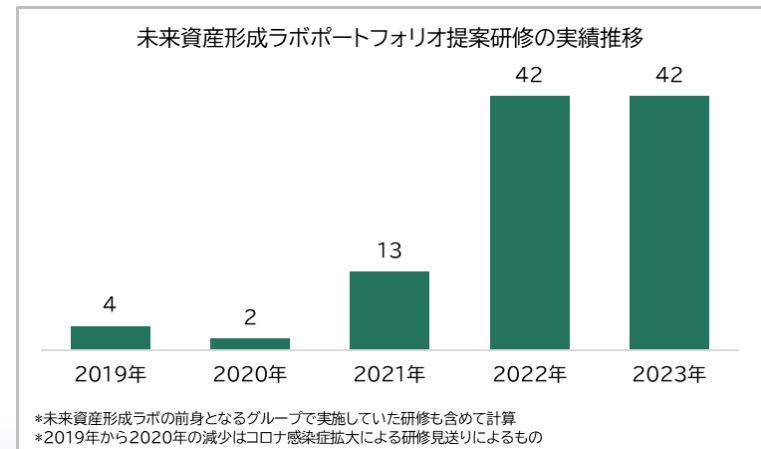
### 取組状況

- ・お客様の資産形成に役立つ情報や現在の市場環境等に関して、オンラインを活用し、販売会社本部および営業店等での研修・勉強会講師対応を年間324回(4,659カ店向け)に実施しました。
- ・ファンドの運用状況や市場環境に関して、お客様セミナーでの講師対応(年間56件)を行いました。(前年度は28件)
- ・未来資産形成ラボにて、りそなグループ内外の金融機関の販売担当者に対して、中立的な視点に基づくゴールベース提案手法などの研修プログラムの提供(年間42件)を行いました。
- ・当社WebサイトやグループSNS媒体を利用した資産運用啓発関連のコラム、動画等の情報発信を行いました。特に新NISAの動画では、お客様自身のライフプランや許容リスク等に基づいた投資判断が行えるよう、様々な切り口での幅広い情報提供を実施しました。
- ・金融教育への取組として、高校への出張授業(年間5件)を実施しました。また、関西大学にてSDGsに関する寄附講座の他、複数の大学での講演・講義を実施しました。※



※金融教育の取組については、下記URLよりご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/sustainability/corporate.html>



## 方針6. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

当社は、お客さまの最善の利益を追求するための従業員評価体系として、リソナグループ各社の評価制度に囚われず、独自の専門系評価制度を制定します。

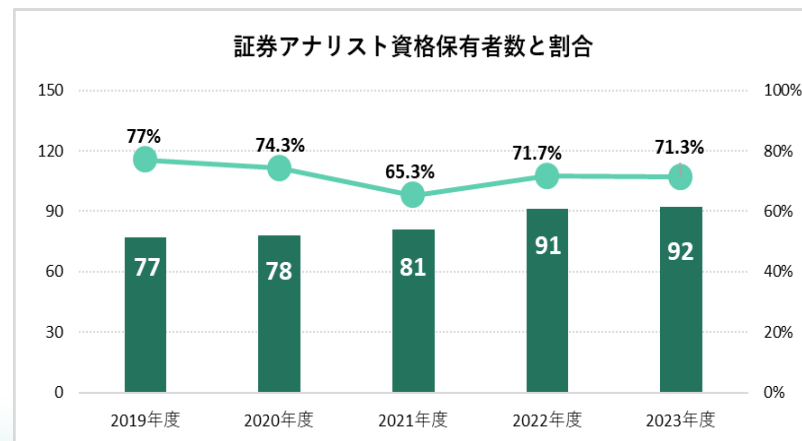
その中では、長期に渡る運用経験と高度専門性を保有する評価者が、各人の運用パフォーマンスや高度専門性を基とした実績評価をベースにしつつ、当社の倫理規定である「行動規範」や、利益相反管理規定である「利益相反管理方針」の遵守状況や組織貢献についても定性評価として考慮に入れ、総合的な人事評価の実施に努めます。

また、専門系評価制度では、全ての従業員に対して証券アナリストの資格取得を奨励し、運用会社として最低限の専門性を確保したうえで、業務・役職ごとに求める専門性を定義することで実効性のある運営を目指します。

### 取組状況

- ・運用担当者については、主担当ファンドの中長期のパフォーマンス実績等から定量的評価を実施し、長期にわたる運用経験を有する所属長の定性的評価を考慮に入れ、「専門系評価委員会」での協議を経て人事評価を行っています。
- ・高パフォーマンス人材のモチベーションとリテンションを目的とした、独自の報酬制度を追加的に導入しました。
- ・最低限の専門性を維持する施策として、当社では全従業員に対して証券アナリストの資格取得を奨励しています。2024年3月末時点での、証券アナリスト資格保有者数および運用関連部署※での保有比率は以下の通りです。

|                  | 2024年3月    | 2023年3月    |
|------------------|------------|------------|
| 証券アナリスト資格保有者数と割合 | 92名(71.3%) | 91名(71.7%) |



※運用関連部署は、運用戦略部、インデックス運用部、株式運用部、債券運用部、責任投資部およびトレーディング部を指し、2024年3月末で128名が在籍しています。

《お客さま本位の業務運営について従業員への周知と支援・検証するための体制について》

当社は、お客さま本位の業務運営に関する取組方針を制定し、当該内容を従業員全体に周知いたします。また、定期的に実施状況を当社経営会議に報告し、検証を行います。

取組状況

・お客さま本位の業務運営に関する状況については、6月および11月に当社の経営会議および取締役会に報告を実施いたしました。

【年金投資基金信託、公募投資信託のパフォーマンスについて】

※年金投資基金信託は、株式会社りそな銀行が年金信託契約に基づき提供しているファンドであり、当社が株式会社りそな銀行より運用の再委託を受けているものを記載しています。  
※年金投資基金信託の収益率については各種のコストは控除前で計算しています。  
※シャープ・レシオは短期金利(有担保コール)控除後の収益率を、当該収益率の標準偏差で除することにより得られる数値です。  
※インフォメーション・レシオは、ベンチマークを上回った収益率(超過収益率)の平均を、超過収益率の標準偏差で除することにより得られる数値です。  
※年金投資基金信託は代表的なファンド、公募投資信託については 5 年以上の運用実績があるものを掲載しています。  
※年金投資基金信託のアクティブ運用のファンド名と戦略については、下表をご参照ください。

| ファンド名 | 株式口A | 株式口L           | 株式口W    | 株式口O  | 株式口V            | 株式口Z          | 公社債A   | 公社債D | 外証券口A         | 総合O            |
|-------|------|----------------|---------|-------|-----------------|---------------|--------|------|---------------|----------------|
| 運用戦略  | 市場型  | 割安株<br>(リサーチα) | グローバル企業 | 小型成長株 | 割安株<br>(クオantz) | 小型株<br>(集中投資) | 満期構成調整 | 金利予測 | 外国債券<br>アクティブ | りそな<br>グローバル株式 |

《本件に関するお問い合わせ》

りそなアセットマネジメント株式会社 お客さま窓口

TEL:0120-223351

